



すべての労働者の立場にたって働き方を見直そう！
「底上げ・底支え」「格差是正」でクラシノソコアゲ！

2018春季生活闘争ニュース

2018. 3. 7 第 3 号 発行責任者 連合北海道組織労働局



挨拶する出村会長

勝利に向け、地域・職場で闘い抜くことを確認

連合北海道は3月5日、札幌市内で「2018春季生活闘争勝利! 3.5全道総決起集会」を開催。月例にこだわった賃金引き上げと働く者の視点に立った働き方改革の実現に向けて組織をあげて闘い抜くことを確認し合った。

冒頭、挨拶した出村会長は昨年の闘いで中小の賃金引き上げ率が大手を0.17%上回ったことにふれた上で、「この流れを加速させ、社会全体にも広げていかなければならない」と訴えた。また、国会で議論されている働き方改革関連法案については、長時間労働を助長しかねない裁量労働制の対象業務拡大と高度プロフェッショナル制度の創設は撤回し、これらを切り離して法案を成立させるべきと強調するとともに、「法案の実現に関わらず、労使交渉で働きやすい職場を目指して働き方改革を実現しよう」と呼びかけた。さらに、不当解雇撤回の闘いを進めている全ベルコ労組の闘いについて、クラウドワークやフリーランスで働く労働者をどう保護するのかと関連しているとして「ベルコの闘いは組織を超えて大きな意義があるもの。違法な働き方を一掃しなければならない」と連合全体の取り組みとして同労組への支援と協力を要請した。

続いて方針提起した杉山事務局長は、今春闘は中小企業労働者と非正規労働者など、すべての働く者の処遇の底上げのための闘いだとの基本的な考えを示し、月例賃金の引き上げが北海道最低賃金の基礎データになることから、「月例賃金の引き上げにこだわり社会的責務を我々労働者が果たさなければならない」と訴えるとともに、「3月14日の最大のヤマ場以降、地場中小の闘いが続く4月まで、勝利に向けて組織・地域が一丸となって闘い抜こう」と強く訴えた。

産別と地協からの決意表明では自治労の三浦書記長から、経済の自律的成長や行政サービスの担い手確保のために地方公務員の賃金引き上げが重要である事、そのために「すべての課題解決は春闘からと確認した」と報告。さらには非正規労働者の処遇改善と組織化や不払い残業を含む長時間労働の是正、上限規制を含めた実効ある働き方改革を進めることも重要課題としたこと。JP労組北海道の滝澤書記次長からは正職員の賃金水準の改善とともに、時間給契約社員の時給40円引き上げと一時金の増額を求めて交渉を展開していること、働き方改革についても2018春闘と2019春闘の2年間で取り組むこととし、2018春闘では正社員との格差を是正するために非正規雇用社員の処遇改善を求めて闘うこと。地域の取り組みとして上川地協の井上事務局長は労使交渉での成果をすべての働く者、国民全体に波及させること、格差是正と底上げ・底支えには地域が闘いの主役にならなければならないと決意を述べた。

集会は決議採択に続いて信岡会長代行の団結ガンバロウで閉会。参加した1300名の組合員は職場、地域で全力をあげて闘うことを誓い合った。



自治労 三浦書記長 JP労組 滝澤書記次長 上川地協 井上事務局長

裁量・高プロ反対! 緊急街頭集会を開催

連合北海道は3月6日、札幌市内で裁量労働制の対象業務拡大・高度プロフェッショナル制度創設に反対する緊急街頭集会を開催し、出村会長らが長時間労働を助長しかねない両法案の撤回に向けた連合の考えと、春闘の取り組みに理解を求めた。